

# 大型バイクの輸入



横浜港のシェアは全国第 1 位  
平成 19 年の全国の輸入額は過去最高

## はじめに

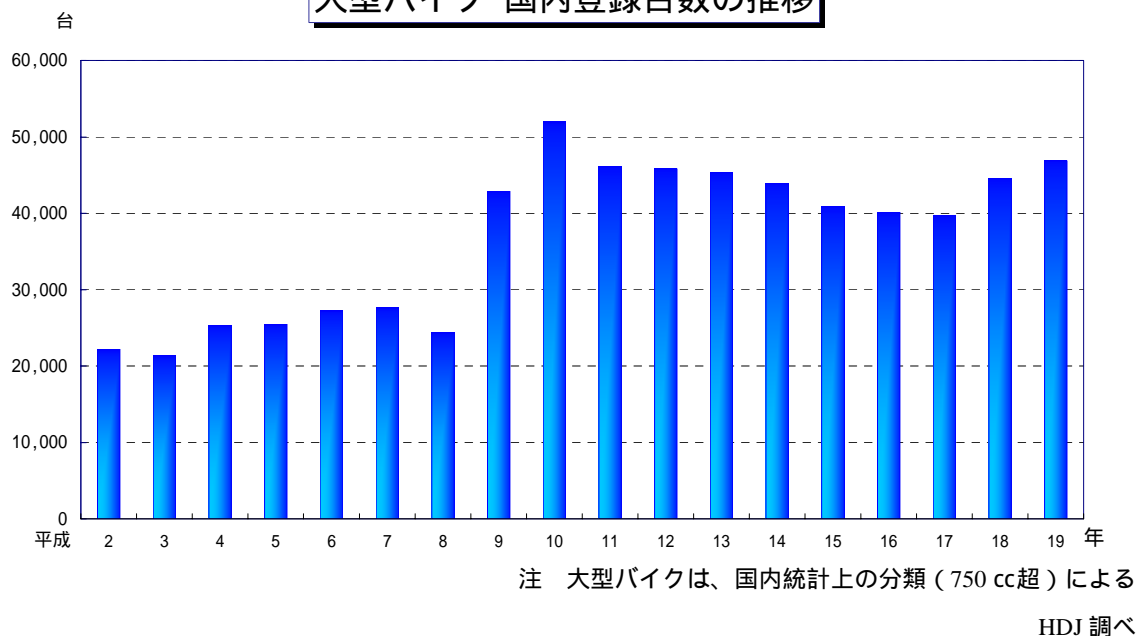
新緑が日本列島を覆いつくすこの時期は、バイクに乗るにはとても気持ちが良い季節です。

バイクでのツーリングは、景色を楽しみながら、風を感じて走るといった車社会で失った感覚を蘇らせてくれるかもしれません。

近年、大型バイクの登録台数が増加傾向にあり、輸入台数も増加基調で推移しています（なお、関税率表上は、800cc を超えるものを大型バイクとして分類しており、以下では、この分類を用います）。

ツーリングに適した季節を迎え、今月は「大型バイクの輸入」について特集します。

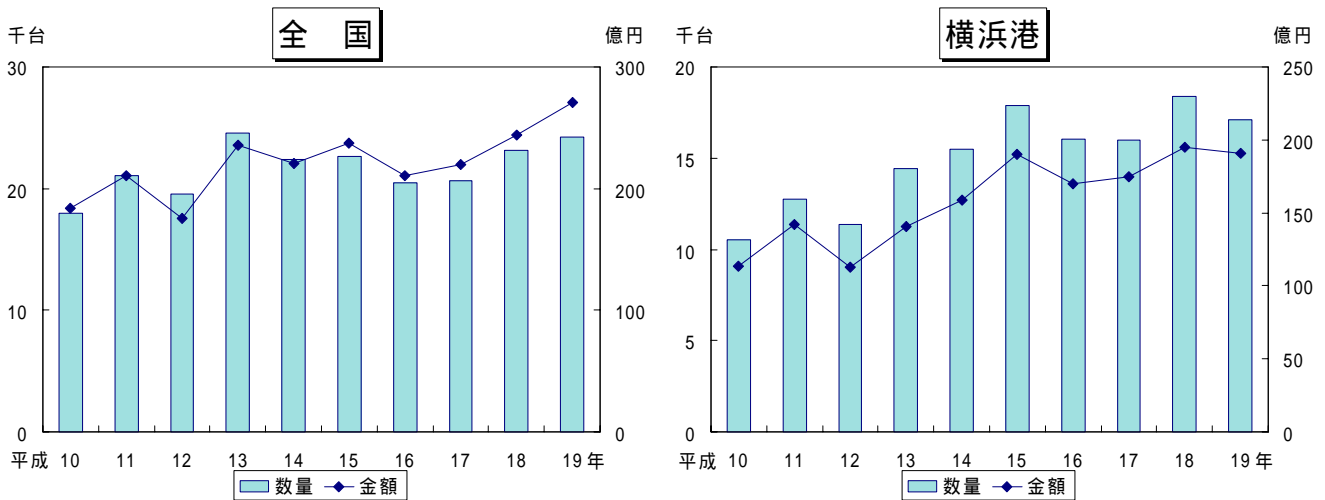
## 大型バイク 国内登録台数の推移



本特集の大型バイクは、輸入統計品目番号（HS コード）8711.50-000（シリンダー容積が 800 立方センチメートルを超えるピストン式内燃機関（往復動機関に限る。）付きのもの）のものです。

## 輸入動向

平成 19 年の全国における輸入数量は 24,207 台（対前年比 4.6%増）、金額は 270 億 8 千万円（同 10.9%増）、横浜港における輸入数量は 17,115 台（同 6.8%減）、金額は 190 億 8 千万円（同 2.2%減）で、全国における輸入金額は 2 年続けて過去最高を更新しています。



## 国別輸入シェア

平成 19 年は全国で 24 カ国から、横浜港で 8 カ国から輸入しています。

国別輸入シェアは、全国、横浜ともアメリカからの輸入が最も多く、次いでイタリア、ドイツの順となっています。アメリカからのシェアが高い理由は、車体が低く、全長が長いアメリカ風のスタイルが受け入れられているためと考えられます。

### 全国

国名	数量 (台数)	構成比 (%)	輸入額 (百万円)	構成比 (%)
アメリカ	16,764	69.3	18,321	67.6
イタリア	2,429	10.0	3,103	11.5
ドイツ	2,201	9.1	3,079	11.4
その他	2,813	11.6	2,579	9.5
計	24,207	100	27,082	100

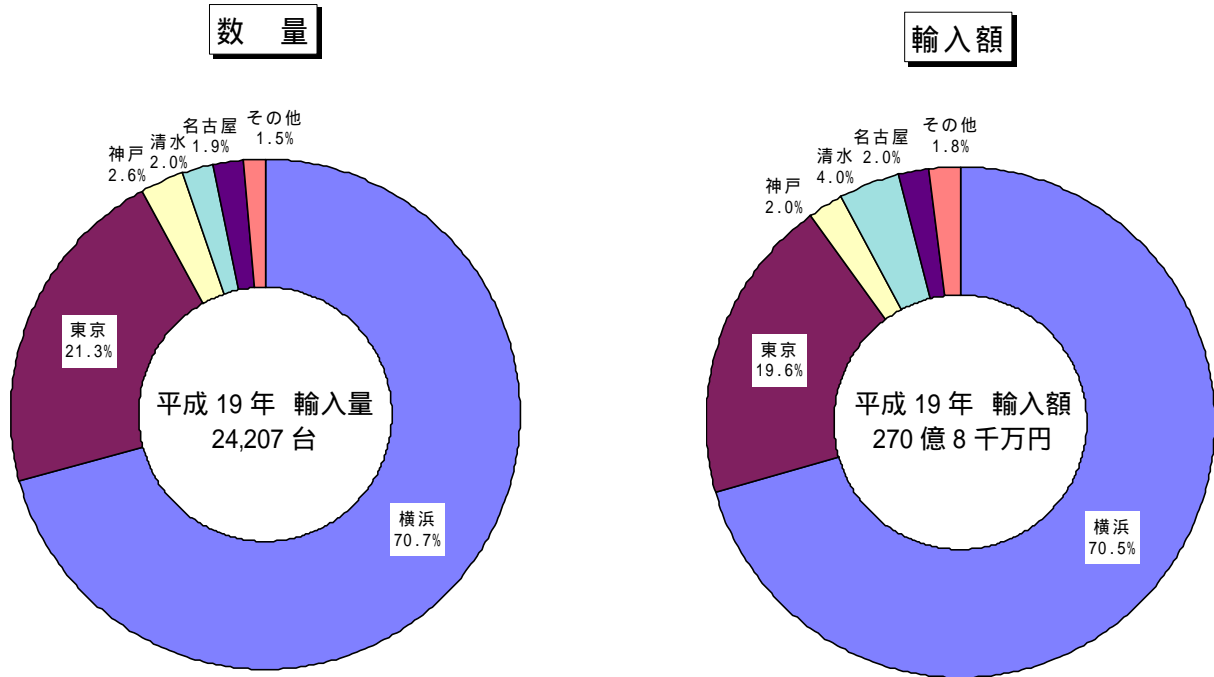
### 横浜港

国名	数量 (台数)	構成比 (%)	輸入額 (百万円)	構成比 (%)
アメリカ	14,851	86.8	16,318	85.5
イタリア	1,948	11.4	2,345	12.3
ドイツ	239	1.4	344	1.8
その他	77	0.4	74	0.4
計	17,115	100	19,080	100

## 港別輸入シェア

平成 19 年の港別輸入シェアは、数量、金額ともに横浜港が第 1 位で、東京港が第 2 位です。

中でも横浜港は、数量、金額とも全国の 7 割のシェアを占めています。その理由としては、輸入者の物流・整備拠点が横浜港近隣に所在していることが挙げられます。



## 今後の見通し

今後の大型バイクの輸入は、

平成 17 年 4 月に道路交通法が改正され、高速道路での二人乗りが出来るようになり、重心が低く乗りやすい大型バイクの市場が拡大したこと、

年々購入者の年齢層が幅広くなり、また「男の世界」という概念が払拭され女性ユーザーも増えてきたこと、

海外メーカーの日本法人や専売ディーラーが、大型ショールームの設置などでブランドの認知度アップを図り、積極的販売促進に努めていること

などから、堅調に推移していくものと業界ではみています。

取材協力 ハーレーダビッドソン ジャパン(株)、ドゥカティ ジャパン(株)

### 【この資料に関する問い合わせ】

横浜税関 調査部 調査統計課 Tel 045-212-6103 (直通)

〒231-8401 横浜市中区海岸通 1-1 (横浜税関 本関庁舎 1 階)

<http://www.customs.go.jp/yokohama/>

本資料を他に転載するときには、横浜税関の資料による旨を必ず注記して下さい。

# 大型バイクの輸入各種データ

## 1. 大型バイク国内登録台数の推移

年	台数
平成2年	22,238
3年	21,402
4年	25,361
5年	25,479
6年	27,203
7年	27,612
8年	24,360
9年	42,877
10年	51,993
11年	46,103
12年	45,818
13年	45,408
14年	43,913
15年	40,867
16年	40,147
17年	39,767
18年	44,555
19年	46,889

## 2. 港別輸入実績(平成19年)

港名	輸入数量 (台)	全国比	輸入額 (千円)	全国比	単価 (千円/台)
全 国	24,207	104.6%	27,082,596	110.9%	1,119
横 浜	17,115	70.7%	19,080,451	70.5%	1,115
東 京	5,158	21.3%	5,312,811	19.6%	1,030
神 戸	634	2.6%	552,034	2.0%	871
清 水	483	2.0%	1,091,717	4.0%	2,260
名 古 屋	465	1.9%	545,673	2.0%	1,173
成田空港	202	0.8%	277,257	1.0%	1,373
そ の 他	150	0.6%	222,653	0.8%	1,484

## 3. 輸入実績推移

年	全 国					横 浜 港						
	輸入数量 (台)	前年比	輸入額 (千円)	前年比	単価 (千円/台)	輸入数量 (台)	前年比	全国比	輸入額 (千円)	前年比	全国比	単価 (千円/台)
昭和63年	7,415	-	6,785,950	-	915	4,068	-	54.9%	3,623,891	-	53.4%	891
平成元年	8,250	111.3%	7,735,927	114.0%	938	4,299	105.7%	52.1%	4,050,454	111.8%	52.4%	942
2年	8,112	98.3%	9,068,113	117.2%	1,118	5,057	117.6%	62.3%	5,947,355	146.8%	65.6%	1,176
3年	9,949	122.6%	10,631,229	117.2%	1,069	4,565	90.3%	45.9%	5,305,316	89.2%	49.9%	1,162
4年	9,062	91.1%	9,735,853	91.6%	1,074	4,922	107.8%	54.3%	5,656,098	106.6%	58.1%	1,149
5年	10,812	119.3%	11,057,359	113.6%	1,023	5,683	115.5%	52.6%	6,389,376	113.0%	57.8%	1,124
6年	9,852	91.1%	9,092,588	82.2%	923	5,026	88.4%	51.0%	5,092,183	79.7%	56.0%	1,013
7年	13,951	141.6%	12,688,953	139.6%	910	7,114	141.5%	51.0%	7,049,750	138.4%	55.6%	991
8年	11,585	83.0%	11,541,757	91.0%	996	7,622	107.1%	65.8%	7,855,995	111.4%	68.1%	1,031
9年	15,803	136.4%	15,886,233	137.6%	1,005	9,227	121.1%	58.4%	9,710,923	123.6%	61.1%	1,052
10年	17,978	113.8%	18,412,752	115.9%	1,024	10,519	114.0%	58.5%	11,375,400	117.1%	61.8%	1,081
11年	21,094	117.3%	21,066,991	114.4%	999	12,740	121.1%	60.4%	14,229,158	125.1%	67.5%	1,117
12年	19,530	92.6%	17,588,031	83.5%	901	11,368	89.2%	58.2%	11,254,062	79.1%	64.0%	990
13年	24,548	125.7%	23,567,849	134.0%	960	14,450	127.1%	58.9%	14,086,392	125.2%	59.8%	975
14年	22,415	91.3%	22,081,093	93.7%	985	15,463	107.0%	69.0%	15,910,544	112.9%	72.1%	1,029
15年	22,659	101.1%	23,730,543	107.5%	1,047	17,903	115.8%	79.0%	18,984,791	119.3%	80.0%	1,060
16年	20,477	90.4%	21,096,381	88.9%	1,030	16,027	89.5%	78.3%	17,010,123	89.6%	80.6%	1,061
17年	20,638	100.8%	21,986,619	104.2%	1,065	15,971	99.7%	77.4%	17,454,412	102.6%	79.4%	1,093
18年	23,149	112.2%	24,414,253	111.0%	1,055	18,360	115.0%	79.3%	19,503,864	111.7%	79.9%	1,062
19年	24,207	104.6%	27,082,596	110.9%	1,119	17,115	93.2%	70.7%	19,080,451	97.8%	70.5%	1,115

## 4. 国別輸入実績推移(平成19年)

【全 国】					
国名	輸入数量 (台)	全国比	輸入額 (千円)	全国比	単価 (千円/台)
アメリカ	16,764	69.3%	18,320,708	67.6%	1,093
イタリア	2,429	10.0%	3,103,263	11.5%	1,278
ドイツ	2,201	9.1%	3,079,210	11.4%	1,399
香 港	1,126	4.7%	1,033,567	3.8%	918
英 国	847	3.5%	641,080	2.4%	757
中 国	280	1.2%	261,062	1.0%	932
そ の 他	560	2.3%	643,706	2.4%	1,021

【横浜港】					
国名	輸入数量 (台)	全国比	輸入額 (千円)	全国比	単価 (千円/台)
アメリカ	14,851	86.8%	16,318,141	85.5%	1,099
イタリア	1,948	11.4%	2,344,658	12.3%	1,204
ドイツ	239	1.4%	343,808	1.8%	1,439
そ の 他	77	0.4%	73,844	0.4%	959

# ミニ知識

## 【バイクはじめて物語】

バイクは、明治 18 年（1885）ダイムラー社の創始者の一人、ドイツのゴットリーブ・ダイムラー（天保 5 年（1834）～明治 33 年（1900））により発明されました。

日本最初のバイクの登場には目撃談等を含め諸説ありますが、（社）日本自動車工業会によると、バイクが発明されてから 18 年後の明治 36 年（1903）に、横浜のボーン商会が米国製乾電池装置付ミッチェル・オートバイを 2 台、日本に輸入したとされています。

## 【国産バイク誕生】

我が国で最初に設計製作されたバイクは、明治 42 年（1909）島津樞蔵（明治 21 年（1888）～昭和 48 年（1973））が製作した NS 号で、約 20 台が NMC（日本モーターサイクル）の名で売り出されました。

## 【白バイと赤バイ】

現在、私たちが目にするのは「白バイ」ですが、警察庁によると初めてバイクが交通取締りに用いられたときは赤く塗装されていたことから「赤バイ」の名で呼ばれていました。昭和 11 年（1936）8 月には、欧米各国にならって大変目立つ白が採用され、現在の「白バイ」になりました。

ところで、赤色の乗り物で連想されるものといえば消防車ですが、消防署にも「赤バイ」が配備されていました。昭和 40 年代に交通渋滞による消防車の火災現場到着の遅れが問題となり、消防当局ではバイクの機動性に着目して、赤色のバイクに赤色灯、サイレン、消火器を装備し、初期消火等にあたらせました。このバイクが当時「赤バイ」と呼ばれていました。横浜市消防局は、昭和 44 年（1969）に「赤バイ」を配備しましたが、昭和 61 年（1986）12 月にこうした役割を終え、「赤バイ」の名称は廃止されました。現在では、大規模災害時における早期情報収集活動のため、オフロードタイプの赤いバイクが各消防署の機動二輪隊に配備されています。



（取材協力：（社）日本自動車工業会、警察庁、横浜市安全管理局）